

平成 14年度科学技術週間

本所、長岡、新庄、三木で一般公開

一般の方々が科学技術に対する理解と関心を深める機会として、科学技術週間が今年も開催されました。

防災科研では、つくば市の本所が4月19日(金)と20日(土)に、長岡雪氷防災研究所と新庄支所が19日に、また、兵庫県三木市の地震防災フロンティア研究センターが20日に一般公開を行いました。

本所にある大型耐震実験施設では、震動台に乗って地震を体験してもらいました。地震体験は阪神・淡路大震災級の震度6まで行いましたが、安全のため、加震開始の秒読みや手すりを設置したので、「思ったほど怖くなかった」という声が多く聞かれました。しかし、実際の地震には秒読みや手すりはありませんので、携帯ラジオ・懐中電灯・ローソク・飲料水等を用意しておくと共に、避難方法・逃げ場所等をよく調べておき、不意の地震でも落ち着いて行動することが大切です。



大型耐震実験施設の震動台で地震体験



防災科学実験教室のようす

実験教室、学校の 週休2日制で盛況

20日の土曜日には防災科学実験教室を開きました。ペットボトル地震計を工作したり、ミニチュアなだれ発生装置を使った楽しい実験など、子供にもわかりやすい内容で、参加した子供達も目を輝かせて研究員の話に聞き入っていました。実験教室の参加者は、今年の4月から学校完全週休2日制となったこともあり、例年を大きく上回りました。土曜日の受け皿として、来年以降も、参加者の増加が期待されます。

長岡雪氷防災研究所と新庄支所の一般公開にも、多くの方が見学に訪れました。また、理化学研究所から防災科研に移管して初めての一般公開を行った地震防災フロンティア研究センターも、被災地の復興過程をCCDカメラで撮影した定点観測や液状化装置などの展示が好評で、上々の出だしとなりました。

(問い合わせ先：企画部企画課

0298-58-1773)